

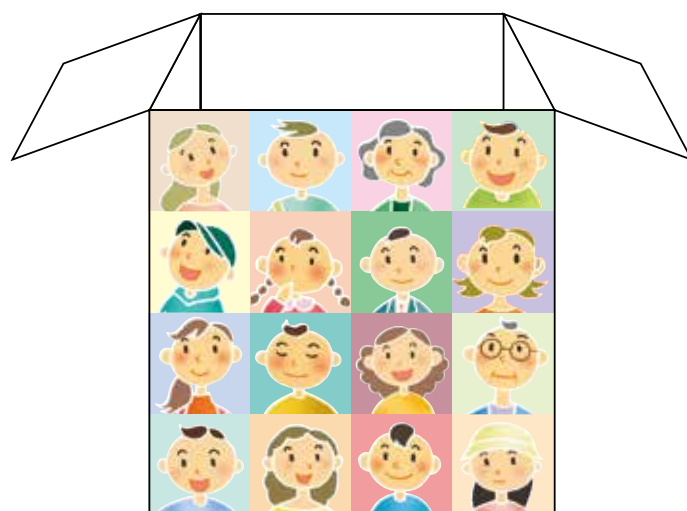
共生社会を みんなで作るために

私たちの周りには、たくさんの製品・施設・サービスがあります。
でも、それらは、本当に誰にとっても便利で、使いやすいものでしょうか。
「誰かの不便」を「みんなの使いやすさ」に変えていきたい・・・。
共生社会は、そんな気持ちからスタートします。
私たちの生活の中に「身体的な特性や障害にかかわらず、
より多くの人々が共に利用しやすい製品・施設・サービス」を広めたい。
みんなにとっての「うれしいキモチ」をもって、
みんなにとっての「うれしいカタチ」を考えてみませんか。

うれしいキモチ



うれしいカタチ



うれしいキモチ



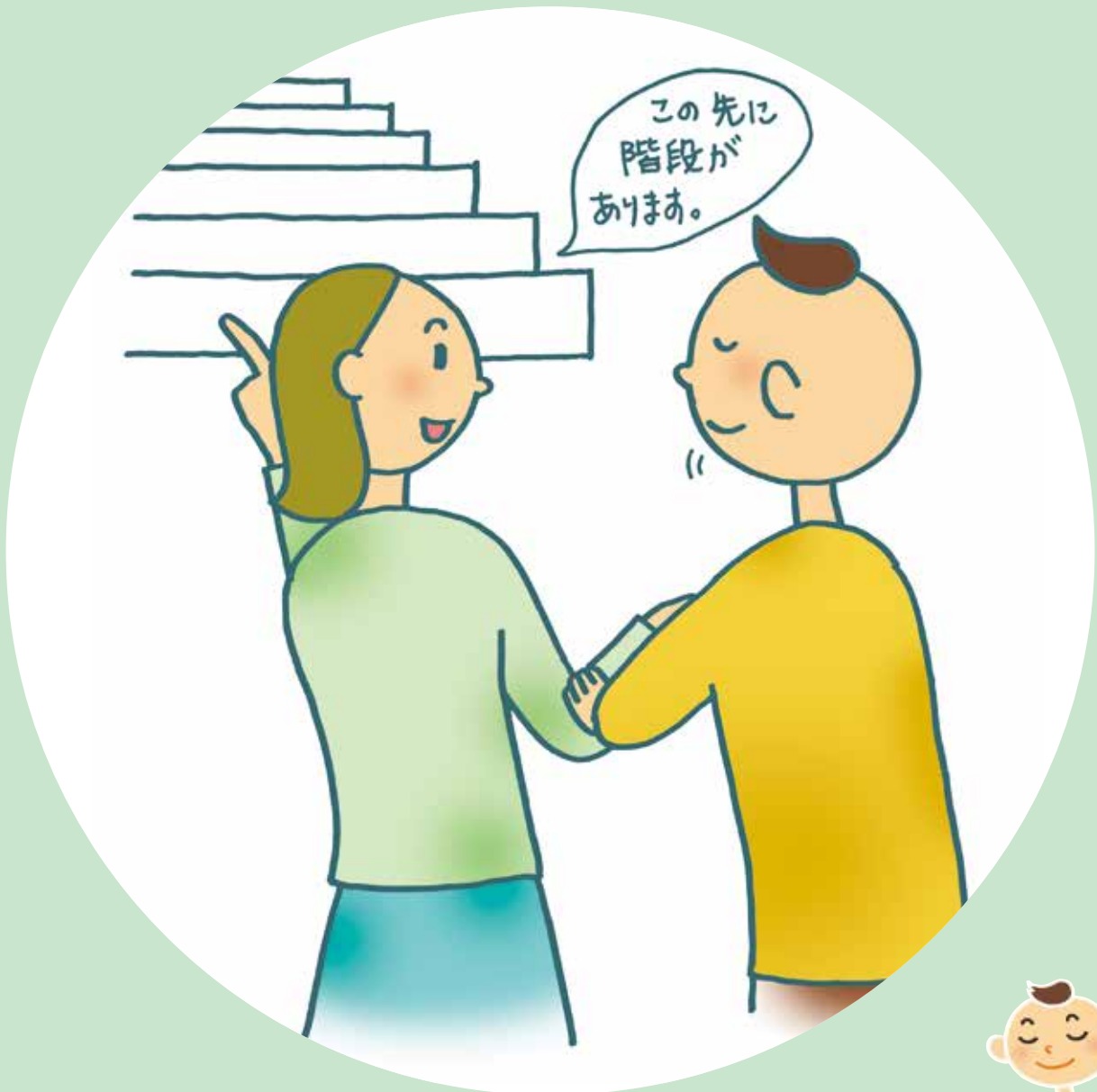
ちょっとしたことに「気づく」ことが始まりです。

社会には、さまざまな人がいて、
それぞれがいろいろな「不便さ」や「困ったこと」を抱えて暮らしています。
でも、自分以外の「不便さ」「困ったこと」には、みんな気がつきにくいものです。
それぞれが、どんなことで困っているのかを伝え合い、自分以外の人への不便さに気づくこと。
そこから、みんなにとっての「うれしいキモチ」が生まれてきます。

目が不自由な方は、
まわりの状況がよくわかりません。

うれしいキモチ

その人の「目」になるキモチが大切です。



**道をたずねられたり、誘導するときには、
具体的な言葉で状況を説明するようにします。**

誘導を頼まれたときには、どのようにしたら良いかをまずたずねましょう。
一般的には腕をつかんでもらい、半歩先を歩くようにします。
誘導の際には、具体的な言葉で状況を説明し、不安感をなくしてあげましょう。



目が不自由な方は、
どこに何があるかよくわかりません。

わかりやすく、具体的な説明が喜ばれます。



**物の位置を示すときには、
時計の文字盤に見立てる方法もあります。**

目が不自由な人が座った位置を時計の文字盤の6時の位置とします。
例えば、右を3時、左を9時として、テーブルの上の料理の位置などを説明することができます。



耳が不自由な方は、話し言葉だけによるコミュニケーションが苦手です。

うれしいキモチ

いろいろな方法で「会話」してください。



**「手話」がわからない場合でも、
身振り手振りで会話をすることができます。**

耳が不自由な方との「会話方法」には、「手話」や「口話（口の動きを読む会話）」、「筆談」や身振り手振りなどが考えられます。

「手話」がわからない場合でも、お互いにコミュニケーションしようというキモチが、「うれしいキモチ」です。



耳が不自由な方にとって、
目から入る情報が特に重要です。

うれしいキモチ

「文字」や「絵」でキモチが通じます。



身振り手振りでの会話が難しいときには、
「筆談」を試みてみましょう。

紙と筆記具があれば、「筆談」が効果的なコミュニケーション方法となります。できるだけ短く区切った文章で、わかりやすく伝えようというキモチが大切です。必要に応じて、説明のための文章や図を用いるとより伝えやすくなります。



車いすを使っている方には、
気づきにくい不便な点があります。

どんな手伝いが必要か、まず聞いてみて。



困っている場面を見かけたら、
望まれる方法でさりげなく対応しましょう。

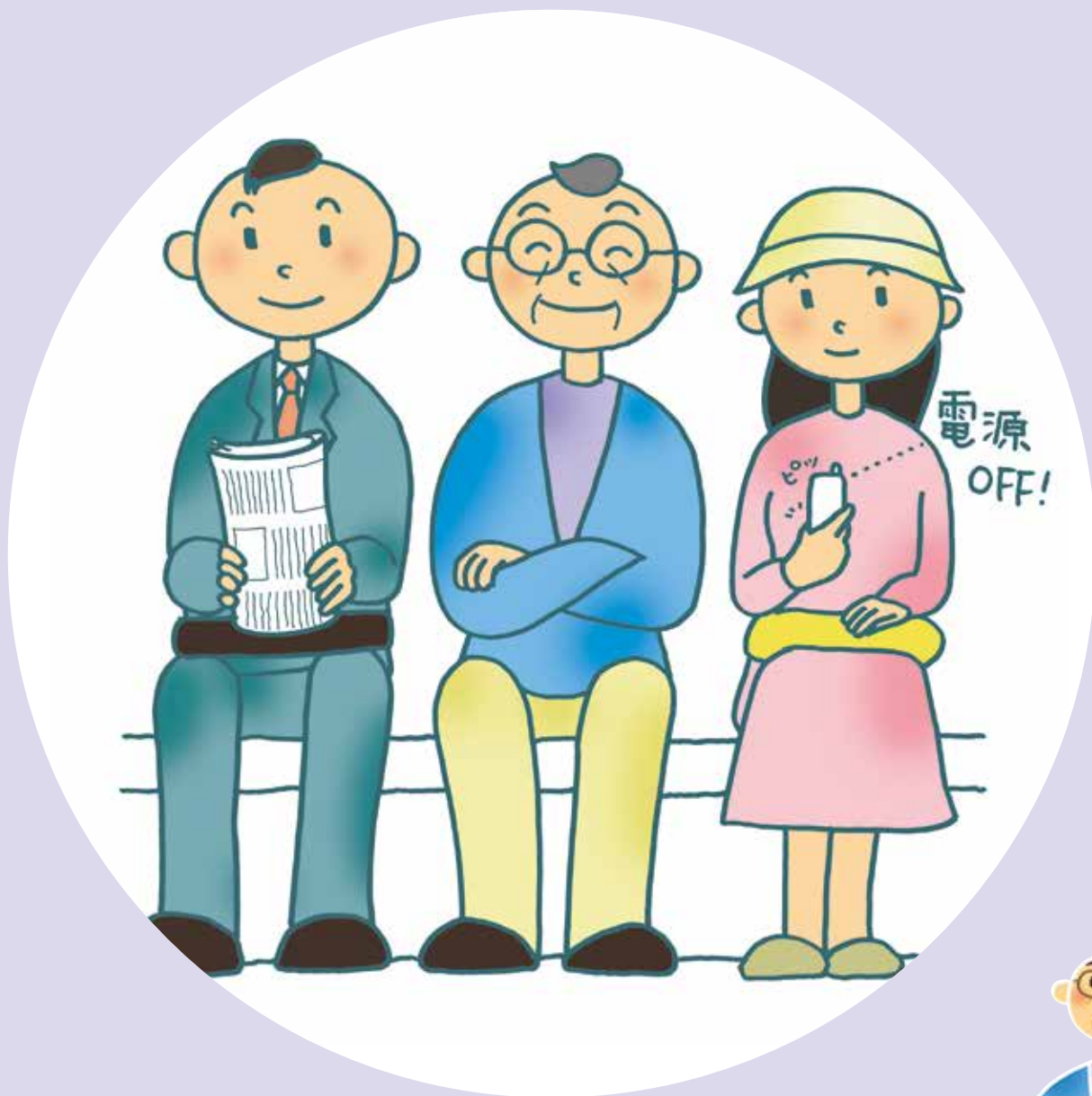
ちょっとした段差や狭い通路が通行の妨げになる他、「高い位置のモノが取りづらい」、ATMや自動販売機が「正面向きでは足が入らずに使いにくい」といった不便な点があります。さりげなく声をかけて、望まれる方法で対応することが、「うれしいキモチ」につながります。



内部障害のある方の中には
ペースメーカーを使用している方もいます。

うれしいキモチ

マナーと思いやりのキモチを大切に。



**電車やバスに乗っているときには、
目に見えない障害のことも思い出して。**

外見からはわかりにくい障害がある方も安心・快適に電車やバスを利用できるように、決められたルールやマナーがあります。これを守ることはもちろんのこと、いつも思いやりとゆずりあいのキモチをもって、みんなが気持ち良く利用できるようにしたいものです。



知的障害・精神障害がある方は、
人とのコミュニケーションが苦手です。

うれしいキモチ

やさしいキモチをもって、話しかけて。



何かをたずねられたときには、
ゆっくり、ていねいに対応しましょう。

知的障害・精神障害も、一見したところわかりにくい障害ですが、同じことを何度もたずねられたり、コミュニケーションがとりづらい場合があります。電車の乗り場や道順などをたずねられた場合にも、一度に説明しようとして混乱させることのないよう、ゆっくり、ていねいに話しかけてください。



高齢の方は、体力や身体機能、
順応性が低下しています。

うれしいキモチ

一声かけて、望まれることのお手伝いを。



**自動券売機の前で困っているようなときには、
やさしく一声かけましょう。**

高齢の方の中には、カタカナ語や新しい機械が苦手な方もいます。
イライラしたりせずに、一声かけて、望まれることを手伝いしましょう。
同じことを何度も繰り返したり、コミュニケーションに時間がかかるときも
ありますが、思いやりをもってお手伝いしましょう。



妊婦さんは立っていることがつらく、
バランスをとることが苦手です。

うれしいキモチ

思いやりといたわりの心で接しましょう。



**電車やバスで一緒になったときには、
まずは、一声かけるようにしましょう。**

中には立ったままの方がいいという妊婦さんもいますが、まずは、一声かけましょう。

立っていることがつらい人に席をゆずったり、詰め合って一人でも多くの人
が座れるようにする、そんな思いやりといたわりの心をもつことが何より
大切です。

